

わたしの主張 五泉市・阿賀町大会

# 風間さん(五泉北中)県大会へ

同地区大会には、同市と同町で選ばれた中学生9人が出場し、「部活動のこと」「将来の仕事(生き方)」「周囲の人間関係」「環境問題」について、中学治・五泉東蒲中学校長 会長は「いずれも素直な発表をした。講評に立った鴻田利

## 「わたしの主張」最優秀作品

いきなりですが、皆さんは部活動が好きですか？ 私は、好きか嫌いかと聞かれたら、「嫌い」と答えるでしょう。私は剣道部に所属しています。「部活が嫌いなものになぜ入っているの？」と疑問に思う人もいると思います。

私が剣道部に入学した理由は、小学生の時から剣道をやっていたからです。しかし、剣道は、夏の暑い中でも革手袋をし、冬の寒い中에서도裸足で練習し、汗をかいても防具は洗

2013年度わたしの主張五泉市・阿賀町地区大会(県地域振興局健康福祉部、五泉市など主催)が5日、五泉市立図書館で開かれ、五泉北中3年の風間貴子さんがみごと最優秀賞を獲得した。

風間さんは、9月23日(月)、柏崎市文化会館アルフォーレで行われる県大会に出場する。



## 強くなるうと思おう 気持ち

で前向き。すばらしい発表だった」などと述べた。審査の結果、「強くならうと思おう気持ち」と題して発表した風間さんがみごと最優秀賞に輝いた。優秀賞には五泉中3年の渡邊萌さんと愛宕中3年の阿部絹香さんの2人が選ばれた。

ました。そして、「この大会の悔しさをバネにして、強くなりたい！」という思いがわき起こり、私の心の中で強い気持ちが燃え上がりました。それから後、私は部活の練習で頑張ることはもちろん、家でも素振りをするようになりました。

3年生になって、燕一ムセンタに行かない「男の子」とつきあつてはいけない「携帯電話を保持してはいけない」など、私の目標は、「声を大きく出す」「礼儀正しくする」というものです。剣道は、ただ技を正確に決めればよいだけではありません。剣道を通して、礼儀を学ぶところでもあるのです。

今、私は、2年前には考えられないような自分がいると思つています。1つの大きな目標に向かって真剣に取り組み自分です。努力したら、その先には必ず良い結果が待っていると信じられる自分です。私に与えられた時間を大切に、何事にも一生懸命努力していきたいと思つています。

革手袋をし、冬の寒い中에서도裸足で練習し、汗をかいても防具は洗いがきついでとて、とてめんどくさがり屋の私が続けられるか、不安なところもありました。

入部してから、私も剣道経験者ということ、1年生の時から試

合に出させてもらい、初めての郡市大会でも入賞することができました。その時はとてもうれしかったのですが、地区大会が終わって少しした頃から、「友達と遊びたいから」「疲れているから」といった気持ちに負けてしまい、部活の練習を休みがちになってしまいました。

そして、1年生の春休み前に、体の具合が悪くなり、入院することになってしまいました。さらに退院してからも、「1ヶ月ぐらいいは激しい運動をしてはいけない」とお医者さんに言われてしまったのです。

2年生になって体調も戻り、再び部活に参加できるようなになりました。また、後悔もあり

五泉北中3年 風間 貴子

およそ剣道とは関係のないことばかりです。燕中学校の女子たちで決めて書いたもののようにした。私はそれを見て、はっと気がついたのです。剣道に直接関係のない生活面がしっかりとあるから、燕中学校にはこの強さが生まれるのだと。1つのこと

を成し遂げるには、自分自身を厳しくし、生き方そのものをコントロールしなければならぬのだと。

このことから、私は日頃の生活をもう1度振り返りたいと思つました。

私の目標は、「声を大きく出す」「礼儀正しくする」というものです。剣道は、ただ技を正確に決めればよいだけではありません。剣道を通して、礼儀を学ぶところでもあるのです。